施工説明書

TOTO

コンパクト手洗器用アクアオート

TEL592型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

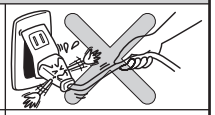
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁　止

AC100Vタイプ
ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。



AC100Vタイプ
電源プラグや機能部に水をかけない
火災や感電の原因になります。

AC100Vタイプ
指定する電源（AC100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

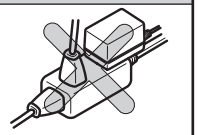
AC100Vタイプ
電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

AC100Vタイプ
電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない
火災や感電の原因になります。

⚠ 警　告

禁　止

AC100Vタイプ
コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



接触禁止

AC100Vタイプ
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

AC100Vタイプ
雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。

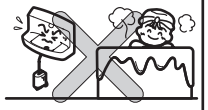
必ず実行

AC100Vタイプ
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

AC100Vタイプ
電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。

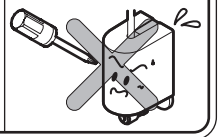
水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
故障や感電の原因になります。



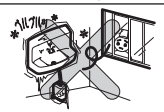
分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない
火災や感電の原因になります。



1-2

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	手洗器に硬い物を落とさない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	手洗器にぶら下がったり、乗ったりしない 手洗器が破損し、けがをするおそれがあります。	
	手洗器に熱湯を注がない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う** 水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

タ　イ　プ		AC100Vタイプ	発電タイプ
電　源　電　圧		AC100V　50/60Hz	ー
消費電力	待機時	0.4W（最大値3W）	
	動作時	0.6W（最大値5W）	
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa（流動圧）	
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）	
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度		1～40℃	
感　知　距　離		学習方式による感知距離変化型 （セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します）	
電源コード長さ		0.75m	ー
センサーコード長さ		1.1m	
吐　水　流　量		4L/分 定流量弁内蔵	
給　水　接　続		R1/2	
用　　途		パブリックおよび一般住宅手洗器用	

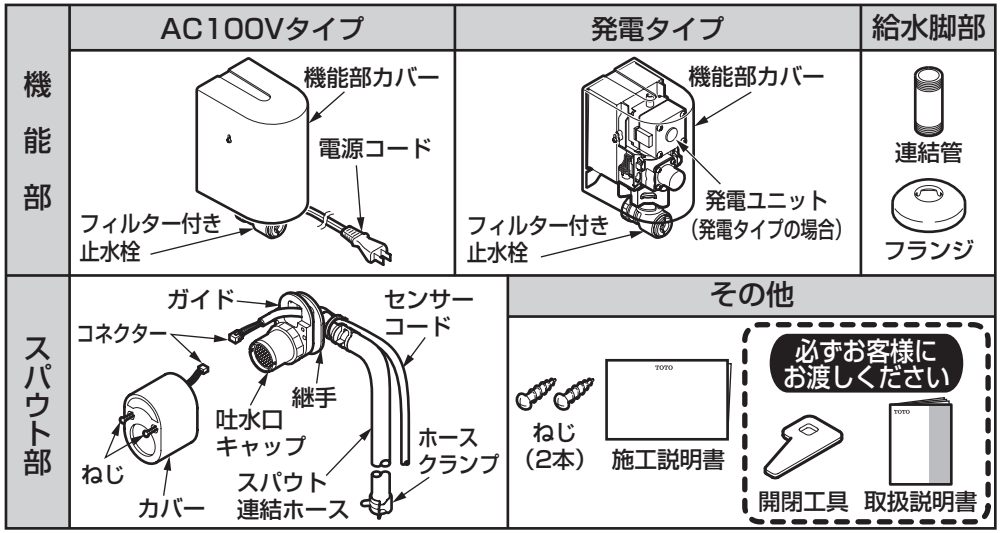
3 品番一覧

総合セット品番	構成内容							
	水栓総合セット	水栓総合セット構成内容			手洗器	トラップカバー	木枠	水石けん
		給水栓	排水金具	取付金具				
LSE570AP (LSE570AS)	TEL570AP型 (TEL570AS型)	TEL592A型	TL590BPX (TL590BS)	ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ TL593D	L570A	HP570F	HK593	―
(LSE570BS)	(TEL570BS型)	TEL592B型						
LSW570AP (LSW570AS)	TEL570AWP型 (TEL570AWS型)	TEL592AW型						
(LSW570BS)	(TEL570BWS型)	TEL592BW型						
LSE870AP (LSE870AS)	TEL870AP型 (TEL870AS型)	TEL592A型	TL60NP (TL590BS)	T9N TA3N×2	L870A L870AM	HP870F	―	TS127C
(LSE870BS)	(TEL870BS型)	TEL592B型						
LSW870AP (LSW870AS)	TEL870AWP型 (TEL870AWS型)	TEL592AW型						
(LSW870BS)	(TEL870BWS型)	TEL592BW型						

●（　）内の品番は床排水トラップの場合です。
●トラップカバー有りの場合は総合セット品番末尾に**「F」**がつきます。
●水石けん有りの場合は総合セット品番末尾に**「M」**がつきます。その際は手洗器の末尾にも**「M」**がつきます。
※品番は変更する場合がありますのでご了承ください。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5-1 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。

●給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 配線について

●AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は5W**です。必ずこれに適した配線をしてください。

●発電タイプは電源工事不要です。

3.その他

●センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

●アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。

●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

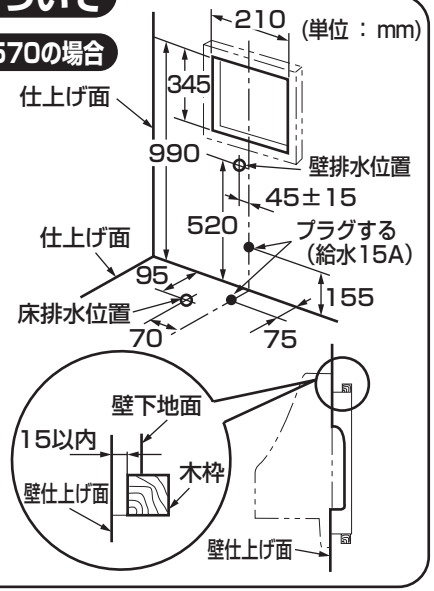
4. 給水・排水取出し位置について

●木枠は手洗器でかくせませんので、必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。（L570の場合）

●手洗器の品番により取付寸法が異なります。詳細は、右図を参考のうえ、取り付けてください。

●給・排水位置についての寸法公差は、寸法表示の±10です。
寸法表示の±10以内でないとオプション品のトラップカバーが取り付かないおそれがあります。

●給・排水位置についてはすべてのバリエーションに対応可能になっていますので、商品品番を確認してください。
（例）床給水・壁排水の時は床給・排水の壁排水位置にセットしてください。

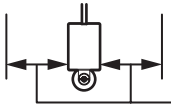


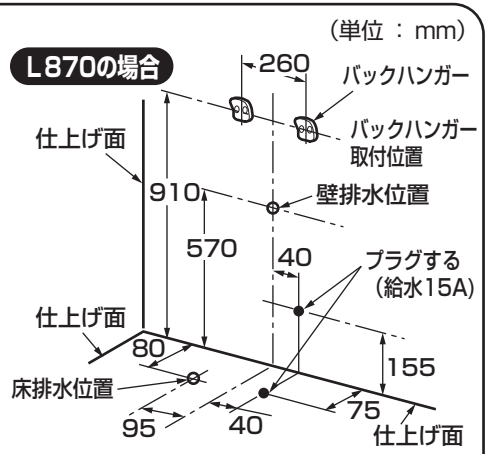
5-2

●トラップカバーを取り付ける際、床に給水・排水がある場合はフランジを必ず取り外してください。

●メンテナンスのため、機能部上部に40mm以上、および機能部カバーの左右どちらかに盗難防止用ねじの取り外しができる程度のスペースを必ず確保してください。

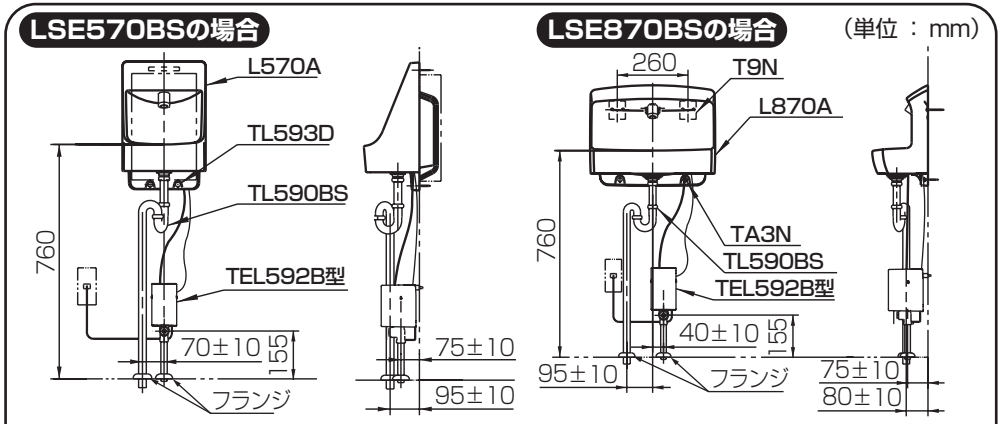
●陶器と機能部が干渉する場合、取付脚（別売：TN74−2型）をご利用ください。（壁給水の場合のみ）





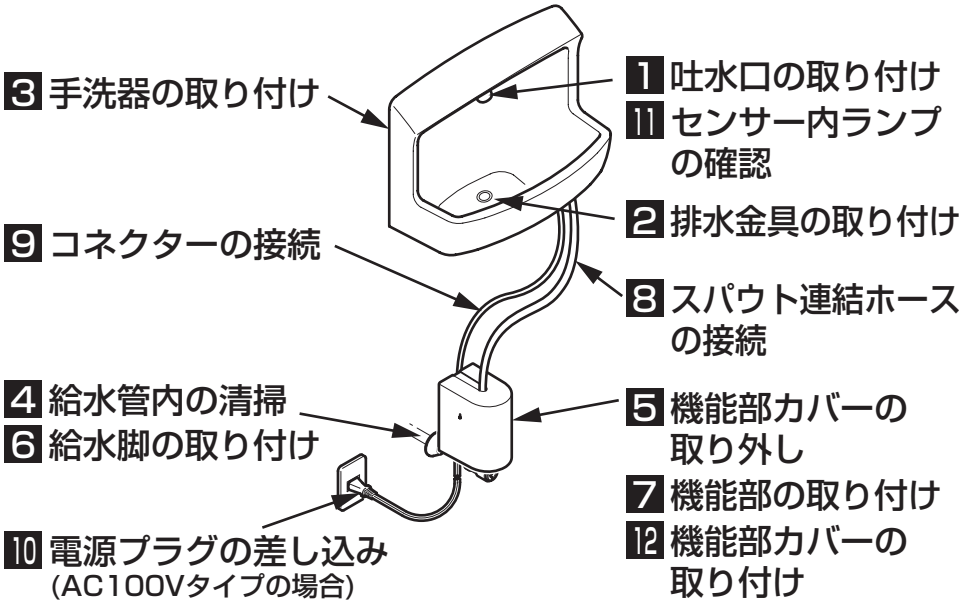
6 完成図（例）

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※トラップカバーを取り付ける際、床に給水・排水がある場合はフランジを必ず取り外してください。

7-1 施工手順



注 意

●クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットでは、クリーンドライのセンサー光が手洗器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 吐水口の取り付け

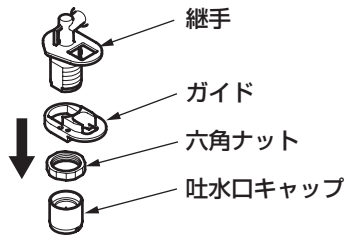
①吐水口キャップ・六角ナット・ガイドを継手より一度取り外す。

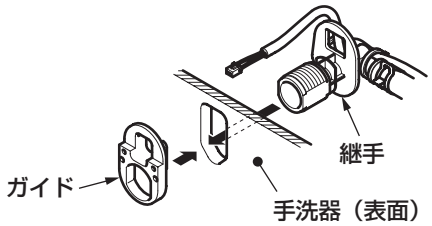
②継手を手洗器裏面より挿入する。

注 意

継手の方向性に注意してください。

③手洗器表面にガイドを右図の向きにセットして取付穴からの継手に挿入する。

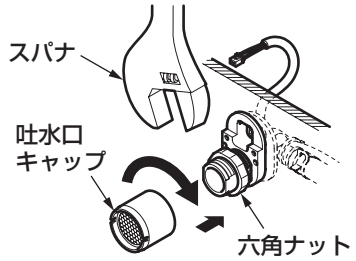




④六角ナットを継手にねじ込み、ガイドを固定する。

注 意

六角ナットの締め付けはスパナなどで確実に行ってください。

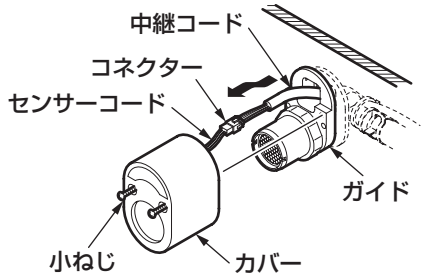


⑤吐水口キャップを取り付ける。

⑥手洗器裏面より中継コードを取り出し、センサーコードのコネクターに接続し、手洗器裏面に収める。

注 意

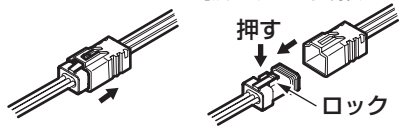
コネクターの接続はロックが確実にかかるまで差し込んでください。また、抜き差し時に防水用Oリングを傷つけないでください。



※カバー内にセットされています。

⑦カバーの凸部をガイドの凹部に合わせ、小ねじで固定する。

<コネクターの抜き差し要領>



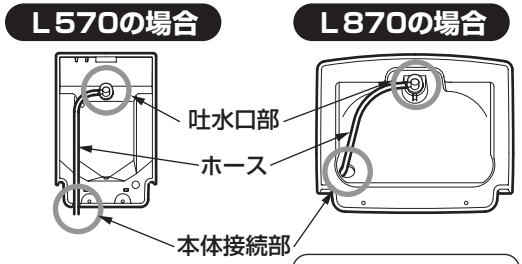
コネクターの接続は、ロックがかかるまで確実に差し込んでください。

コネクターを外すときは、ロックを押し下げて引き抜きます。

⑧ホースを手洗器へ取り付ける。

注 意

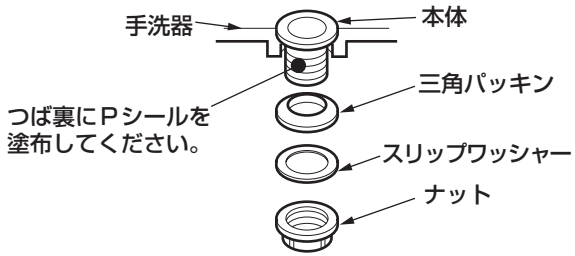
ホースは変形やねじれのないよう取り扱いに注意してください。ホースの防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。



裏面へつづく

2 排水金具の取り付け

手洗器に排水金具を取り付ける。



3 手洗器の取り付け

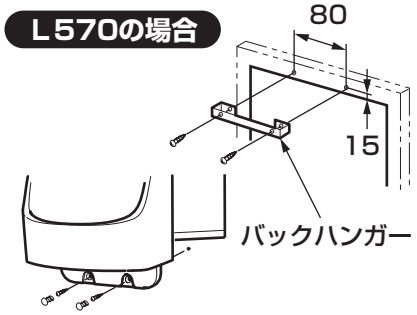
①バックハンガーを所定の位置に取り付ける。

②手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押さえ手洗器が水平であることを確認して、取付位置をけがく。

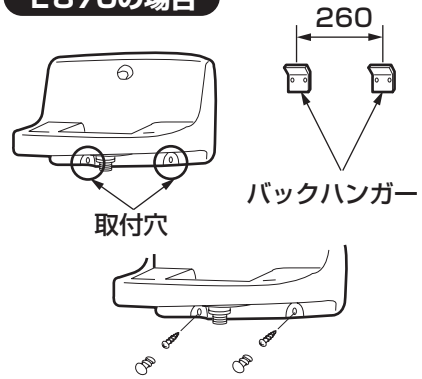
③手洗器をバックハンガーから取り外して、下穴を開ける。（2カ所）

④再度、手洗器を取り付けて木ねじで固定する。（2カ所）

L570の場合



L870の場合



4 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

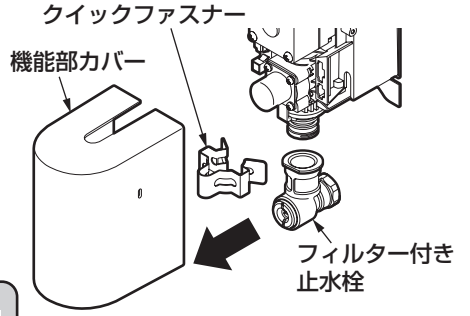
重要

5 機能部カバーの取り外し

①機能部カバーを手前側に外す。

②クイックファスナーを外し、フィルター付き止水栓を取り外す。

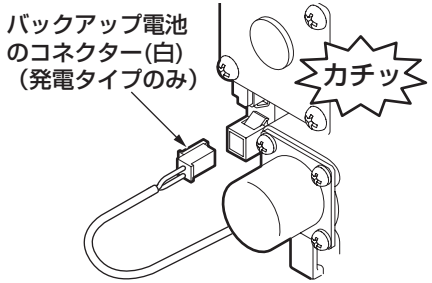
③発電タイプの場合、バックアップ電池のコネクター(白)を「カチッ」というまで差し込む。



注 意

●バックアップ電池のコネクターは機能部底部にあります。

●発電タイプの場合、コネクターを接続後、機能部が作動可能になるまでに約2分間かかります。

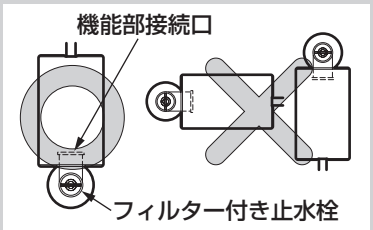


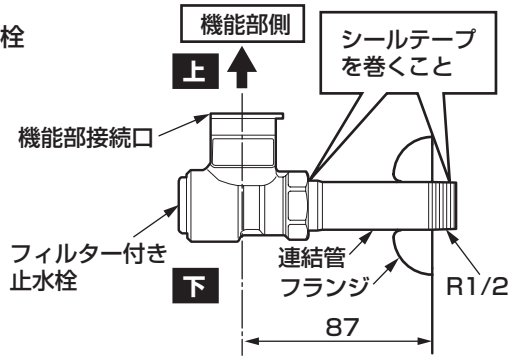
6 給水脚の取り付け

フランジ、連結管、フィルター付き止水栓を取り付ける。

注 意

必ず機能部接続口が上になるように固定してください。
水が浸入し、不具合の原因になります。





※陶器と機能部が干渉する場合、取付脚(別売：TN74-2型)をご利用ください。(壁給水の場合)

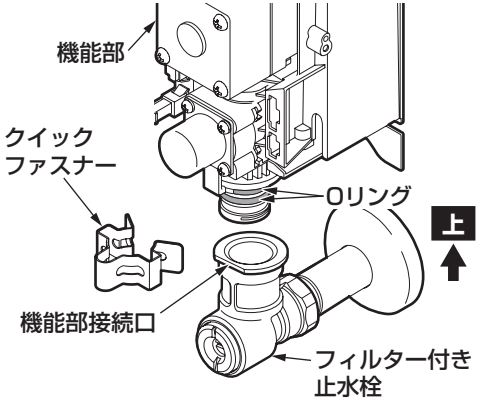
7 機能部の取り付け

①フィルター付き止水栓の機能部接続口が上になっていることを確認し、機能部をフィルター付き止水栓に取り付ける。

②クイックファスナーで固定する。

注 意

Oリングにごみなどが付着していないことを確認して、取り付けてください。



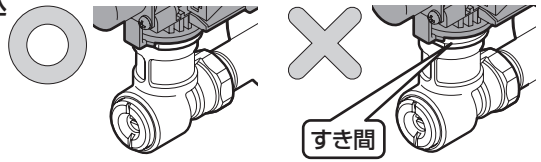
⚠ 注　意

必ず実行

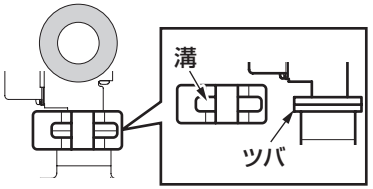
クイックファスナーの取り付けは、確実に行う

不完全な場合、外れて水漏れの原因になります。

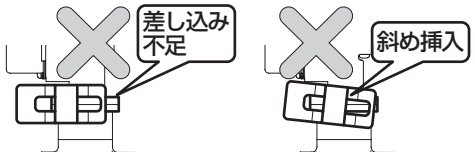
●すき間がないよう、確実に押し込む。



●クイックファスナーの溝にツバが全周にかかっていること。



●クイックファスナー取り付け後は、正しく取り付いていることを目視や鏡で確認する。



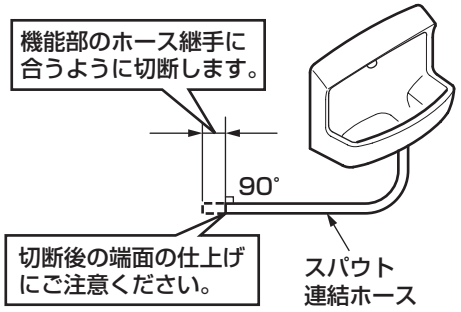
8 スパウト連結ホースの接続

①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注 意

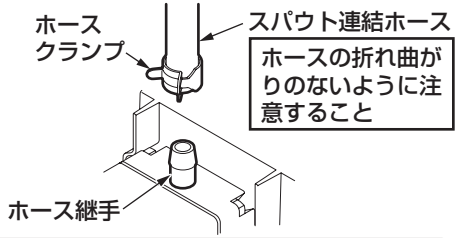
●ハサミなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。

●スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



②スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。

③ホースクランプでホースを固定する。



注 意

●スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。

●スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。

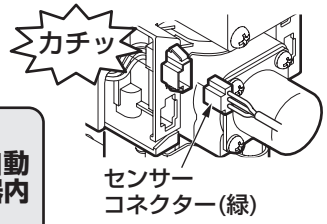
●ホースクランプは所定の位置にくるようにしてください。

●必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。

ホースクランプがホース継手の上面に付くこと

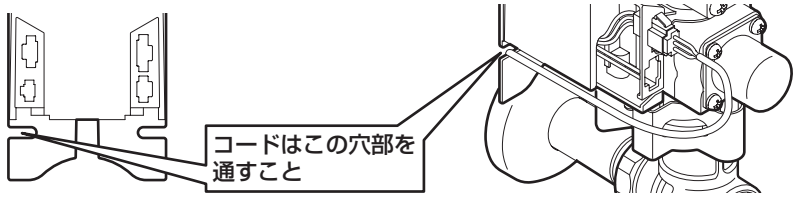
9 コネクターの接続

センサーコネクター(緑)を「カチッ」というまで差し込む。



注 意

<発電タイプの場合>
センサーコネクターが入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)

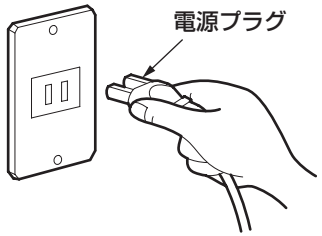


10 電源プラグの差し込み（AC100Vタイプの場合）

電源プラグをコンセントに差し込む。

注 意

<AC100Vタイプの場合>
電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)



11 センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、手洗器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが 点滅していない ことを確認する。

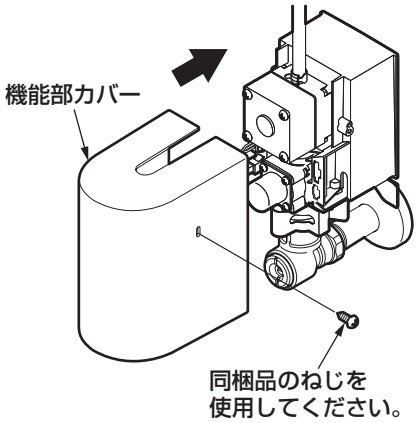
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。

12 機能部カバーの取り付け

①コネクターが確実に接続されているか確認する。
②クイックファスナーが確実に差し込まれて固定されているか確認する。
③機能部カバーをはめ、両方または左右どちらかをねじで固定する。

注 意

- **機能部カバーは確実に取り付けてください。**
- **機能部の取り付け向きを確認してください。**
- **機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。**



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認
止水栓を開き、連結管やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める
●吐水口に手を近づけると水が出ます。

●手を離すと約1～2秒後に水が止まります。

●手を約１分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)

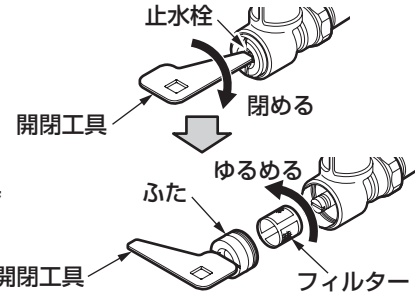
●センサー前面から約4cmの位置に開閉工具など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。

※正常に動作しない場合は、**各コネクターが確実に接続されている**か確認してください。

2. フィルターの掃除

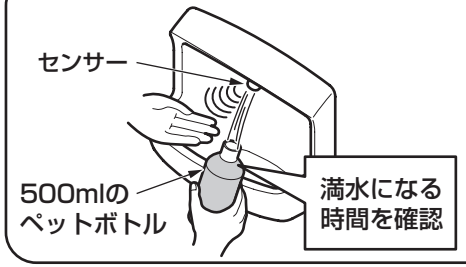
取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。



※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

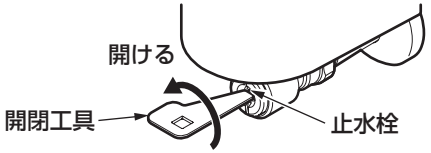
3. 流量の確認（発電タイプの場合）



1. センサー前に手をかざし、水を出す。
2. 500mlのペットボトルに水をため、11秒以内に満水になることを確認する。
3. 11秒以上かかる場合は 4. 流量の調節 を参照し、定流量弁を取り外して、使用する。

4. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。
止水栓は全開 でご利用ください。



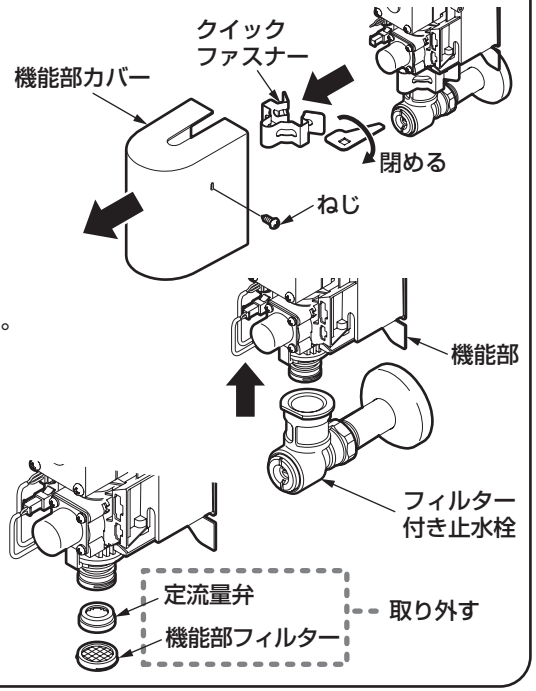
ただし、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

1. 開閉工具で止水栓を閉める。
2. ねじを外し、機能部カバーを外す。
3. クイックファスナーを外す。
4. フィルター付き止水栓から機能部を取り外す。
5. 機能部に組み込まれている機能部フィルターを外し、定流量弁を取り出す。
6. 機能部をフィルター付き止水栓に取り付け、クイックファスナーで固定する。

クイックファスナーの取り付けは、確実に行ってください。

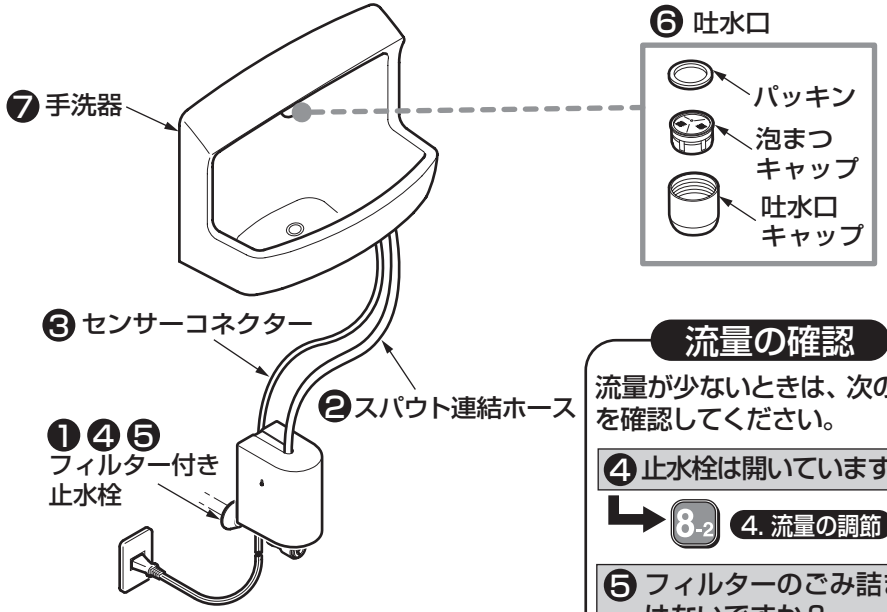
7. 機能部カバーを取り付ける。
8. 止水栓を開け、流量調節をする。

発電タイプは500mlのペットボトルが10秒以内で満水になるように調節してください。



9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ 止水栓部の水漏れはないですか？

→ 7-2 ― 6「給水脚の取り付け」参照

❷ スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか？

→ 7-3 ― 8「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

❸ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

→ 7-3 ― 9「コネクターの接続」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

❹ 止水栓は開いていますか？

→ 8-2 4. 流量の調節 参照

❺ フィルターのごみ詰まりはないですか？

→ 8-1 2. フィルターの掃除 参照

❻ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

→ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❼ 手洗器のガタツキはないですか？

→ 7-2 ― 3「手洗器の取り付け」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。